

令和	6	年度	事業者番号	0116	事業所番号	011601
----	---	----	-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあつては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	西武本川越ステーションビル		
事業所所在地	市区町村	川越市	
	字・地番	新富町一丁目22番地	
産業分類名(中分類)	58 飲食料品小売業		
分類番号(中分類)	58		
事業活動の概要	事業内容	雑貨、カフェ、食品等の小売業(本川越P e P e)、宿泊業(川越プリンスホテル)の複合ビル	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間		2	年度	~	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	第3計画期間の基準排出量に対し、削減計画期間中年平均で22%以上を削減します。				
	その他ガス					
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量(計画期間合計)	32,966	t-CO ₂	事業所区分 第1区分-(1)		
	削減目標量(計画期間合計)	9,299	t-CO ₂			

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間		7	年度	~	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)					
	その他ガス					

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	2,620	2,704	2,700	2,825	

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	5,112	5,273	5,267	5,507	
前 年 度 比 (%)	—	3.1	-0.1	4.6	
そ の 他 ガ ス	非エネルギー起源 CO ₂				
	メ タ ン				
	一 酸 化 二 窒 素				
	ハイドロフルオロカーボン				
	パーフルオロカーボン				
	六 ぶ っ 化 い お う				
	三 ぶ っ 化 窒 素				
温 室 効 果 ガ ス の 合 計	5,112	5,273	5,267	5,507	

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況 (エネルギー起源CO₂)

CO₂換算 (t-CO₂/指標)

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	113.9545	117.5435	117.4097	120.0829	
前 年 度 比 (%)	—	3.1	-0.1	2.3	
活 動 規 模 の 指 標	44.86	44.86	44.86	45.86	
延床面積					

(4) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	コロナ感染防止のため、休業や時短営業を実施したことによる使用量減少。 経済情勢を踏まえ、省エネ設備投資の実施見送り。					
令和3年度 (2021年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	感染症における行動緩和が広がり、昨年度より営業時間および来客者数も増加のため、 エネルギー使用量増。					
令和4年度 (2022年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	夏季および冬季において、デマンド抑制に注力し、負荷設備の節電運用を実施した結果、 前年比で電気の年間使用量が減少。					
令和5年度 (2023年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	前年に比べ平均気温上昇に加え、来客数の増加によって、エネルギー負荷の増加。 また、レストラン利用人数、前年比約140%増加の要因。					
令和6年度 (2024年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	8,453	t-CO ₂ /年
基準排出量の検証	未実施	

(2) 基準排出量の変更

	変更年度	変更量 (t-CO ₂ /年)
1		
2		
3		
4		
5		

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第1区分- (1)
----------	-----------

(4) 削減計画期間

2	年度から	6	年度まで
---	------	---	------

(5) 年度ごとの状況

(排出量等の単位: t-CO₂)

		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	削減期間 合計
基準 排出 量 等	基準排出量(A)	8,453	8,453	8,453	8,453	8,453	42,265
	目標削減率の 緩和措置						
	トップレベル認定						
	目標削減率(B)	22.00%	22.00%	22.00%	22.00%	22.00%	
	排出上限量 (C = Σ A-D)						32,966
	排出削減目標量 (D = Σ (A × B))						9,299
実 績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	5,112	5,273	5,267	5,507		21,159
	削減率 (F = (A - E) / A)	39.52%	37.62%	37.69%	34.85%		—
	排出削減量 (G = A - E)	3,341	3,180	3,186	2,946		12,653
各年度の排出量の検証		実施済	実施済	実施済	実施済		

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区 番	区 分 名 称					
		大 区 分	中 区 分				
1	150200	受変電設備、 照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用 管理	ホテル 照明器具更新 (レストラン・ホテルフロント周り)	R5	R5	
2	120100	熱源設備・熱 搬送設備	12_燃焼設備の管理	ボイラー エコノマイザー設置 (1/2) (R2 延期分)	R5		
3	120200	熱源設備・熱 搬送設備	12_冷凍機の効率管 理	吸収式冷凍機更新	R5		
4	160100	昇降機、建物	16_昇降機の運転管 理	ホテル エレベーター更新 (2台)	R5	R5	
5	160100	昇降機、建物	16_昇降機の運転管 理	ペペ エスカレーター改修 (1/3)	R5	R5	
6	150200	受変電設備、 照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用 管理	ホテル 照明器具更新	R7以降		
7	120200	熱源設備・熱 搬送設備	12_冷凍機の効率管 理	ペペ PMAC用冷却塔更新	R7以降		
8	120200	熱源設備・熱 搬送設備	12_冷凍機の効率管 理	吸収式冷凍機更新	R7以降		
9	120100	熱源設備・熱 搬送設備	12_燃焼設備の管理	ボイラー エコノマイザー設置 (1/2) (R2 延期分)	R7以降		
10							
11							
12							
13							
14							
15							

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

R2年の計画工事は、感染症の影響によって売上が激減した事で、計画中止とした。
R5年から優先順位を付けて計画を予定する。
R5年の計画においても再精査をした結果。次年度以降にスライド計画とする。
R6(6月実施)吸収式冷凍機整備にて能力維持を実施。その他項目の更新計画はスライドする。
R7年から再度計画を遂行する。